

第39回 番組審議会議事録

1. 開催日時 平成29年10月4日
2. 開催場所 よこてイースト会議室
3. 委員出席 委員総数 6名
出席委員数 6名

出席委員	鈴木 信好	委員長
	岡部 えり子	副委員長
	佐々木 隆一	委員
	菊地 清志	委員
	土田 百合子	委員
	佐藤 誠一	委員
欠席委員	なし	

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 4名

高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長/番組審議会事務局
木匠 一公	支援室
高橋 一親	支援室

(1) 10月課題審議 審議番組『輝き世代 いきいきシニア』
(9月18日月曜日 午後1時～午後2時 放送分)

《審議の概要》

(1) ①審議番組『輝き世代 いきいきシニア』について

番審委員からの意見

- ・今回の企画は高齢者の食事のサービスや介護タクシー等ためになる話ばかりで良かった。
- ・盛りだくさんすぎるところもある。
- ・シルバー人材センターは会員数1000人超えるということでしたが、利用者のご意見なども聴くことができれば身近に感じられたかもしれない。例えば利用方法を3つくらい紹介してそれを利用した方の話を聞くなど。
- ・「お知りになりたい方は」という言葉が2回出てきたが丁寧語の使い方に疑問を感じた。
- ・敬老の日のこういう特集というのは、地元FMならではの意義を感じる放送だった。
- ・平鹿自動車学校のインタビューで高齢者講習に関してはハガキが届いた方のみということだったので、構成上「ハガキが届いた方が講習を受ける」というのが先にきたほうが良かった。また、一時停止しない人が多いとのことだったが一時停止の定義なども教えてほしかった。
- ・全体的にさみしかったのでBGMがほしかった。
- ・肝心なねりんぴっくに出てどうだったのか、成績とか、他の県のひととの交流などについて話してもらえれば内容に幅が出たかと思う。
- ・第一印象はまじめないい番組を聴かせてもらったと思った。この企画は毎年やっているのか？
- ・進行の高橋薫さん、言葉の使い回しはあれですが、丁寧な話し方と優しさが伝わってこの番組にぴったりの声。
- ・ポイントが絞られていて、会話が丁寧。
- ・途中でインタビュアーが変わるが違和感がなくスムーズ。編集のレベルが上がったと思う。
- ・CMとの関係が気になる。偏った感じがした。誰に聴かせたいかを公平に見て制作してもらいたい。

会社側からの回答

- ・FMでは何年かに介護のイベントを行っていて、それに伴い「介護を知ろう」という番組も放送しておりましたが、スポンサーがつかず、消滅してしまった。
しかし今年になって、介護の問題を再度発信していきたいということになり特番として再構築していくことになった。
- ・流れをさきに話し合い、ではこんな営業先はどうかということで決めていった。
- ・初めての企画だったのでアラが目立つ作りになったが、今回のご意見を踏まえて次回に続けたい。

(1) ②その他の放送番組について

番審委員からの意見

- ・選挙特番について4年前の放送が酷かったが、今年はなにか対策を考えているか？
結果が長引いて、だんまりの番組になってしまっていたが？

会社からの概要

- ・今回は、開票情報に特化した内容にする予定。情報のない時間は音楽を流し、新しい情報が入り次第放送するスタイルとする。

5. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 平成29年10月13日

6. 次回審議番組

「ペット特番」（11月25日土曜日 午後1時から放送）

7. 備考

11月、12月は休会とし、次回は1月に開催予定。